

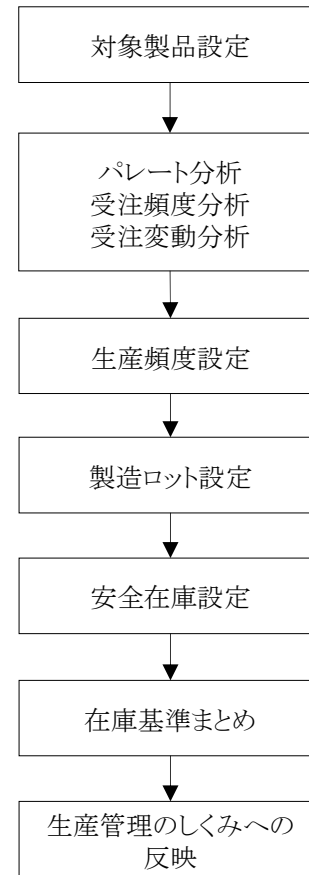
7.3 在庫管理、在庫削減

在庫は、販売の波に対して生産の調整を柔軟に行うために必要不可欠ですが、過剰な在庫はキャッシュフローを阻害し、経営へ悪影響を与えます。そこで最適な在庫、在庫削減が声高に発せられることになるわけです。しかし、在庫は生産、販売の対応と合わせて検討すべきであり、同時に在庫金額の大小によって管理方法を考えなければなりません。

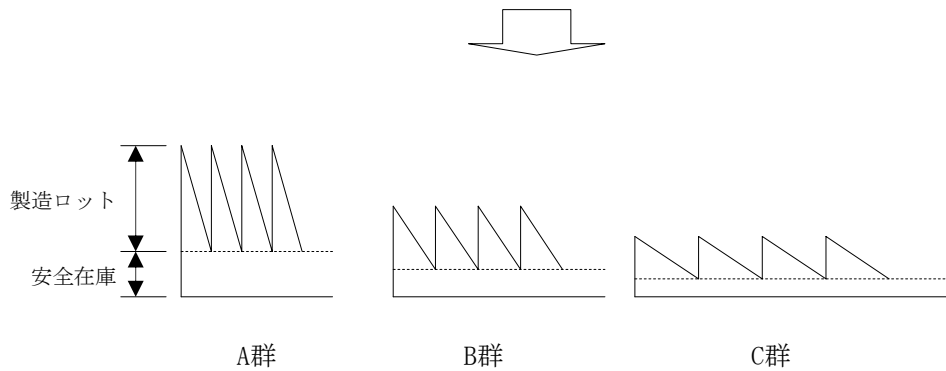
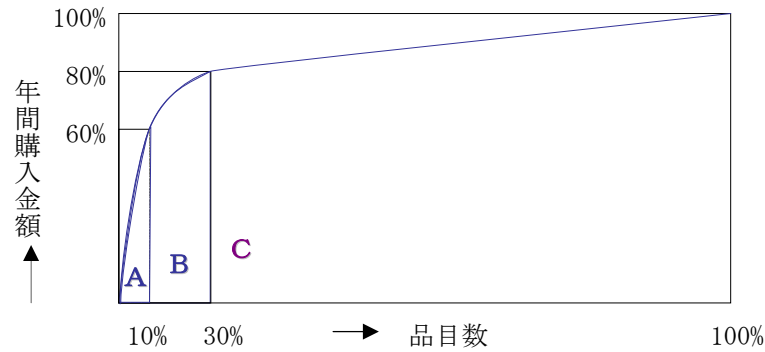
適正在庫は、販売推移、生産頻度、販売変動を基に理論的に決めなければなりません。適正在庫検討においては、在庫全体に対し、在庫金額の大小により、パレート分析を行い、A、B、C区分を行い、金額の高いA在庫は、手間をかけて（生産頻度を上げて）過大な金額にならないように配慮すべきです。一方で金額の少ないC在庫品は、管理の手間をかけないように、長期間毎の管理や発注点管理等の方法で管理されるべきです。

また多頻度受注品と低頻度受注品では在庫のリスクも変わる。このように在庫の特徴に応じて、在庫基準、生産ロット、生産頻度等を設定するとよいでしょう。また出荷変動を配慮した安全在庫を設定し、適切な基準在庫として整備すると良いでしょう。

展開ステップ



在庫管理のためのパレート分析



パレート区分に応じた生産管理のイメージ